



- | | |
|--|--|
| <p>校舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ●竣工年度/S.57 ●構造/RC造 5階 ●延床面積/7,673㎡ | <p>第1体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> ●竣工年度/S.50 ●構造/RS造 ●延床面積/1,376㎡ |
| <p>第2体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> ●竣工年度/S.54 ●構造/RS造 ●延床面積/1,307㎡ | <p>格技場</p> <ul style="list-style-type: none"> ●竣工年度/S.54 ●構造/RS造 ●延床面積/518㎡ |

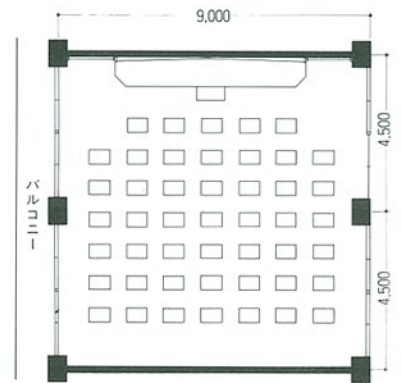


■甦る泉丘高校舎

昭和53年10月であったと思う。御多忙な中西知事に御来校を願い、校内を一巡していただいたあと知事は全職員を前に所感を述べられた。「この学校の校舎内を見せてもらったのは、今日がはじめてである。本来なら充分耐用年数があるのだが予想外に傷みがひどく、全面改築に踏み切るべきだと思う。しかし、造るからには、高校のモデルスクールにしたい。先生方の意見を反映させて」と。

以前から学校として改築計画はもっていたが、それは本館を除くものであった。全面改築となれば膨大な予算が要る。建てられてから40年で伝統ある校舎を取りこわすことは、ここに学んだ卒業生の心情を汲むと忍びないとの配慮からであった。知事の意向を同窓会、PTAの役員に伝えたところ、中には建築の専門家もおられ、知事そのような御意向ならばこの機会に全面改築をしていただこう。われわれも積極的に協力したいということになった。同窓会から異論がでるのではないかと心配したのであるが、杞憂となってホッとした。54年度から着工された建設工事が順調に進み、高層モダンな近代的校舎が次第にその偉容を現わしてきている。間もなく完成すると聞く。中西知事の教育に対する御熱意、県教委の御高配、同窓会・PTAの御協力のためものと喜びにたえない。

松岡正信 (元金沢泉丘高等学校長)



階段ホール



学生ホール